

## 母親ら特技や力作発表

刈谷で催し 子どもは仕事を模擬体験

子育て世代を応援するイベント「ファミリア」が二日、刈谷市産業振興センターであり、親子連れら三千人以上が来場した。

趣味や仕事でハンドクラフトやアートなどに取り組み母親らの発表の場を設け、交流も深めてもらおうと、

子ども向けには、仕事を疑似体験しながら社会の仕組みを学べる企画「子ども夢のまち」もあった。子どもたちは「ハローワーク」で職を探し、駄菓子屋の店員やごみを拾う清掃局職員などとして働き、「銀行」で模擬の通貨を受け取り、ゲームや買い物を楽しんだ。

夢のまちは愛知教育大学の学生たちが昨夏から準備してきた企画で、二十五人が子どもに付き添った。また、め役の二年生田中美里さん（20）は「『楽しかった』という声が聞こえてうれしかった。私たちにとっても子どもとたくさん接することができると話した。（神谷慶）

一般社団法人まちづくり支援センター（刈谷市）が主催。三回目。企業四社を含む市内外の三十六個人・団体が出展し、手作りのかばんや帽子やピアスの販売、チョコレートやヘッドマッソーシの体験など多様なブースが並んだ。



駄菓子を買う子どもたち（右側）に対応する「店員」ら＝刈谷市産業振興センターで